●JICA国内研修ゲンバ訪問記　VOL.9　資源管理型沿岸漁業研修@氷見編

OJAMA-SHIMASU

たけだみりこ

取材前夜

早朝からの取材に備えて泊まった氷見市内の宿泊先

夕食に出てきた氷見の魚たちは本当においしかった。

予習：定置網漁法とは？

漁場に仕掛けた固定の網を毎日定時に起こし、そこに入っていた魚を適切な量だけ捕るという、氷見では400年前から行われている漁法。

魚をなるべく傷つけず、生きたまま水揚げできる上、氷見の場合は漁場が近く昔からの鮮度保持の技術にも秀でていることなどから、その魚の鮮度の高さは日本一といわれている。（以上、市役所でもらった資料より抜粋）

4月×日 午前8時30分 宇波漁港

網入れ作業見学

網の積み込みが終わり、3隻の船で富山湾にいざ出航！

それと地元漁師さんの計10人の手作業で定置網の枠にしっかりと結わえ付けられ、海中に沈められていった。

…と思ったら、3分ほどで目的地に到着。

網は研修員たち5人と浜谷さん、

網の仕立て、修繕作業とみんなの感想

午後から行った網の仕立て、修繕作業は丁寧に一目ずつ手でついていく地道な作業だったので、

研修員たちに氷見研修の感想などを聞いてみた。

こうして午後の時間はゆっくり流れ3時30分研修終了。

今後の見通し

氷見市民からの贈り物

午前の作業が終わって港に戻ると、真新しい網が届いていた。

海はひとつ

ふと見ると、研修員たちと地元の若い漁師さんたちが楽しそうに話していた。

浜谷さんの話

定置網Tシャツ

気がつくと、ノッポーンさんとウィラサックさんとタウィキートさんがおそろいのシャツを着ていた。

しかも、よく見るとそれは定置網をデザインしたものだった！

意気込みが伝わってきた！

タイの有志で作ったTシャツ

ナイス！

海藻とかが付いて網が汚れてくると魚に嫌われるので定期的にとりかえるんです

氷見では今日せれば来年の春までもつけどタイだと半年に一回は必要かもなぁ…

水温高いですもんね

江戸時代から1900年ぶりに建てた氷見の定置網を、曳きとこれがいろいろ工夫に進化してきていかなきゃならないんですよ

定置網は初期費用もかかりますしね…

ホントですよ

定置網の枠にきれいな網をとりつけるんですよ

午前中は湯井さんの網入れを手伝います

網入れ？というのは…

JICA氏

湯井さん

今朝の魚

なんてうまそうな

ちょっとでも

いいお天気で…富山湾に浮かぶように立山連峰が見えた。

できたてで網を船に積み込む研修員のみなさん

コーディネーターの浜谷さん

お姉さんの

ちょっとでも

ちょっとした違和感なんかも、彼らがタイに持ち帰り、漁師たちが少しずつ良くしていくんですよ

二の網は、タイでの定置網漁の成功を願って、氷見市民からのプレゼントなんですよ

いい話ですね

うん

午後は、この新しい網を仕立てます！

当

富山湾が素晴らしい

イケス拡張したい

魚は水だけ自身に触れないように掴むのは全体の1割程度だもんな

ココに入った魚は逃げない

①何もすることはココに残す

②ココに入った魚は逃げる

ウーイ

定置網漁法

富山湾

能登

氷見

ノッポーンさん

ウィラサックさん

タウィキートさん

ちなみに

ちゃうが浜谷さんとカモンラットさんも乗ったりなんですけど！

こわってすごくチームワークが必要な作業ですよねー

ウーイ

ウーイ

ウーイ

今日が最初の網入れ

今日が最後の網入れ

今日が最初の網入れ

今日が最後の網入れ

今日が最初の網入れ

今日が最後の網入れ